

## 人間性豊かな看護師の育成を目指して

看護部長 河野弥生

医療や看護の高度・複雑化や専門化の進歩とともに、看護職に対する期待も大きく変化しつつあります。

医療機器の進歩や新薬の開発など、看護師も専門職として、質の高いケアを提供していくことが求められてきています。このような医療情勢のなか、知識・技術を磨きスキルアップすることは大切なことです。それ以上に大切なのは相手・人进行いやる「心・気持ち」だと考えています。

そこで今年度から新たな看護教育制度（教育ラダー制度）を導入し、豊かな人間性のある看護師育成を目標に、看護職員全員で取り組んでいます。

豊かな人間性を養うにはどうすればいいのでしょうか。看護師自身が育った環境が影響すると思いますが、何より、その時々に出会う患者さんやご家族の皆さんから学ばせていただくものと考えています。

看護を通じて患者さんやご家族の笑顔に出会ったとき、私たちもともに喜びを実感し「もっと喜んでいただきたい」とさらなる看護の向上を目指すことにつながります。そのような、看護師と患者さん、ご家族との関係を大切に、「ここに来てよかった」と思っていただけの看護の提供に尽力していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 基本理念

医療の質を高めることにより、地域住民の皆様健康保持と増進に寄与し、住民の皆様信頼され、愛される心温かな病院を目指します

### 看護部の理念

思いやりの心を第一として、知識・技術を磨き、専門職としての能力を高めます。そして地域に貢献することを目指します。

## 町長日記

### 知覧特攻平和会館

Vol. 40

先日、鹿児島に研修に行く機会があり、知覧に行ってきた。知覧は薩摩藩時代の面影を残す武家屋敷群が保存され、古風で落ち着いた静かなたたずまいを醸し出している。一方、もはや敗戦の色濃い大東亜戦争の末期、20歳前後の隊員達が沖繩方面へ特攻隊として出撃していった陸軍特攻基地としても名高い。

知覧特攻平和会館は、沖繩戦の特攻作戦で戦死された1036名の陸軍特攻隊員の慰霊に努め、当時の真の姿・遺品・記録を残し、特攻を通して戦争のむなしさ、平和の大切さ・ありがたさ、命の尊さを訴え、後世に正しく語り継ぎ恒久平和を祈念するため建設された。隼・飛燕・疾風などの戦闘機、戦史資料とともに若き特攻隊員の英霊コーナーには隊員の遺書・絶筆が展示されていた。国を思い、父母を思い、自らのかけがえのない命をなげうってでも守るべき価値のため出撃して行った、彼らの絶筆には涙が止まらなかった。

飛行機に重い爆弾を抱えさせ、行き燃料しか積まず、十分な援護機もつけずに出撃をさせる。敵戦闘機のおそろしい邀撃をかわし、凄まじい対空砲火の中、いったい何機が海の藻屑と化したのか。飛



田原本町長

寺田 典弘

行機乗りは常に死を覚悟していた。それでも死を覚悟で出撃することと、死ぬと定めて出撃することとはまったくの別物だ。人という資源を大切にしない愚かな作戦だと思ふ。しかし作戦は別として、彼らはこの戦争に勝てば日本は平和で豊かな国になると信じていた。愛しきもののために、それは父母であり、兄弟姉妹であり、友人であり、恋人であった。そしてその愛しきものたちが住まう日本であり、郷土であった。彼らはそれらを守るために出撃していったのだ。

ちょうど同じ日、閣僚が春季例大祭中の靖国神社に参拝したと騒いでいる国があった。内政干渉も甚だしい。今、私たちが享受している豊かな社会は、先人達が捧げた尊い犠牲のうえに成り立っている。国家のために殉じた人たちに對して崇敬の念をあらわし、御霊のどこしえに安らかならんことをお祈りするの、今を生きる我々に課せられた責務である。